

Profile

パラノビチ・ノルバート (PALANOVICS Norbert)



1978年、南ハンガリーのペーチ市生まれ。故郷の大学で経済学を専攻した後、2002年に初めて来日し、関西外国語大学でアジア学を学んだ。その後、ハンガリーの大学院でビジネス学を学び修士号を取得。メキシコの権威ある私大、ラス・アメリカス大学・プエブラに教師として招聘された。2004年に再来日し、博士号を取得するため名古屋大学に留学した。在学中、ハンガリーの新聞とビジネス誌の日本特派員としても活躍。首相や経済界の要人をインタビューし、様々なジャンルの重要な出来事を中心に、本国ハンガリーに情報を提供していた。博士課程における卒業論文のテーマは、日本の平和構築を考えた上のODA外交であったが、2008年に名古屋大学に受理され、博士課程を修了した。このテーマに沿って、その後も様々な記事を書いたが、特に重要なのがラウトレッジ出版社から発行された『日本の政治と経済・変革の可能性』という本で書いたODAによる平和外交の一章だ。その後、彼は名古屋大学から各員教授として招かれた。ジャーナリストとして活動する一方、彼はハンガリー最大の食肉加工メーカー、ピック・セグド社の東京事務所を立ち上げ、自らが代表として活躍。食べられる国宝・マンガリッツア豚をアジア市場に紹介し、ピック・セグド社は日本をはじめ東アジアに販路を拡大した。このことは、母国ハンガリーに少なからず利益をもたらしたと同時に、日本におけるハンガリーの知名度向上にも寄与することとなった。この功績もあって、民間からの起用により彼は2016年に駐日ハンガリー大使に任命された。語学も堪能で、ハンガリー語以外に日本語、英語、スペイン語とドイツ語を話す。趣味は食文化の探求、映画、スポーツ、旅行、異文化交流。

ファルカシュ・ガーボル (FARKAS Gábor)



1981年5月23日生まれ。ハンガリー・オズド出身。2005年リスト音楽院を卒業。ゾルターン・コチシュとタマーシュ・ヴァーシャリ指導のもと2014年に同音楽院博士号取得。同時に、コモ湖国際ピアノアカデミーにて、ウィリアム・ナボレー氏の元で研鑽を積む。2018年度青山音楽賞受賞。2015年ニューヨークコンサートアーティスト&アソシエイト主催コンクールにて最優秀賞を受賞し、カーネギーホールにてデビューリサイタルを行う。2009年ワイマール第6回国際リストピアノコンクールにて第1位および聴衆賞、ベストハイドンソナタ演奏者賞を受賞。2003年にハンガリー全国ラジオピアノコンクールにて第1位受賞、2000年ウィーンバルトーク・ペーラピアノコンクール受賞、その他数々の賞を受賞。2015年ハンガリーオズド市名誉市民賞、2012年ハンガリー最高芸術家賞であるフランツリスト賞、2009年グンデル芸術賞、プリマジュニア賞、2008年ベストヤングアーティスト受賞。デビューCD『An evening with Liszt』(ワーナークラシックスより発売)はフランツリスト国際協会よりグランプリ賞を受賞。ハンガリー、イタリア、スイス、ドイツ、北京、ソウル、東京の主要な会場で演奏。数々の著名な音楽祭にも招待され、世界的に有名な指揮者からも、又室内楽パートナーとしても絶大な信頼を得ている。スタインウェイアーティスト。長年リスト音楽院ピアノ科で教鞭をとり、現在は東京音楽大学教授。

三苫 民雄 (MITOMA Tamio)



1958年11月18日福岡県生まれ。ハンガリー政府給費留学(ハンガリー科学アカデミー歴史学研究所所属 1987-1990)ブダペスト・エトヴェシュ・ローランド大学社会学博士号取得 dr. universitatis (sociologia) 1990。明治大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得。日本学術振興会特別研究員(1991-1993)明治大学二部法学部兼任講師。名古屋法経情報専門学校堀田校教諭。愛知産業大学短期大学通信教育部国際コミュニケーション学科教授(2010-)東海学園大学経営学部非常勤講師(政治学：2016-)

〈主要著書〉
『歴史の哲学、哲学の歴史—ことばの創造力』(デザインエッグ社2018年)
『間違いの効用—創造的な社会へ向けて』(ふくろう出版2015年)
『価値と真実—ハンガリー法思想史1888-1979年』(信山社2013年)
『権力の社会学—力が生まれるとき』(ふくろう出版2012年)
『人びとのかたち—比較文化論十二講』(ふくろう出版2011年)
『法と道徳—正義のありか』(日本出版制作センター2009年)
『人と人びと—規範の社会学』(いしずえ2003年)

富田智容子 (TOMITA Chiyoko)



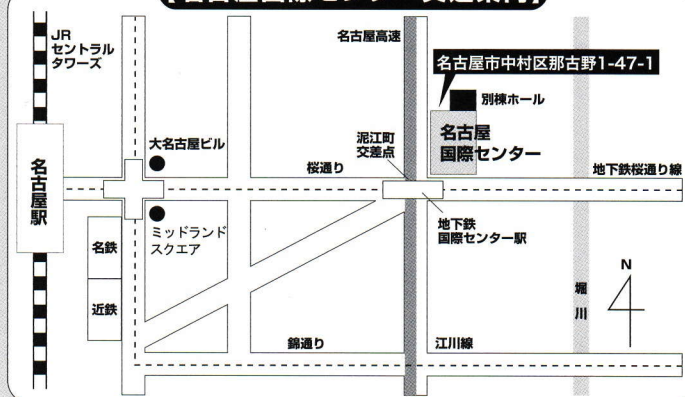
3歳よりピアノを始め、小学校入学と同時に名古屋音楽学校に入学。数年間ピアノを学ぶ。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第8回アゼリア推薦新人演奏会オーディションに合格、同演奏会に出演。大学卒業後、ピアノ留学のため渡英、約1年間ロンドンに滞在し、その後ハンガリーに渡り、6年間留学。ハンガリー国立リスト音楽院修了。ハンガリー政府給費留学生、日本ハンガリー友好協会推薦奨学金留学生。第23回国際ピアノコンクール(イタリア)でセミファイナリストのメダルとディプロマを獲得。ハンガリー、イタリア各地でリサイタル、ジョイントコンサートに出演。帰国後は名古屋を中心に演奏活動を行い、2008年、しらかわホール(名古屋)にてリサイタルを行う。2011年には、名古屋市民芸術祭2011参加公演に選ばれ、ザ・コンサートホール(電気文化会館・名古屋)にてリスト生誕200年記念オールリストプログラムによるリサイタルを行う。2016年4月に、CD『ピアノリサイタルセレクション』(全曲ライブ録音)をリリース。現在、東京福祉大学非常勤講師。

大塚 奈美 (OTSUKA Nami)



愛知県出身。修士(人文科学)。幼少時よりコダーイやバルトーク、オルフなどの理念に基づいた歌唱や器楽演奏、身体表現等に親しみ、後にクラシックバレエを学ぶ。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻(修士課程)在学中にハンガリーに中期滞在し、ティマル・シャンドル、ティマル・ベシュケらの下でティマル法による民俗舞踊実技を学ぶ。同時期に、修士論文作成の一環として、ブダペストにおける民俗舞踊の様式と場に関する知見を深める。修士号取得後、ハンガリー政府奨学金留学生として、エトヴェシュ・ローランド大学民俗学科、舞踊芸術専攻大学民俗舞踊専攻、ハンガリー科学アカデミー音楽学研究所民俗舞踊部門、セグド大学民族学・文化人類学科他において民族学・民俗学及び舞踊の研究に従事し、現地調査を行う。総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻博士後期課程(国立民族学博物館)単位取得満期退学。主な研究領域はハンガリーのターンツハーズ運動、トランシルヴァニア・カロルセグ地方の農村における舞踊文化等。2012年には、ブダペストで開催されたターンツハーズ運動40年記念の国際会議に招かれ、日本におけるハンガリー民俗舞踊の状況についてハンガリー語で報告。ハンガリー及びトランシルヴァニアの舞踊文化や食文化、農村文化などを紹介する各種活動及び通訳・翻訳にも携わっている。

【名古屋国際センター交通案内】



問合せ先 事務局 志村 Tel/Fax: 0568-76-4347
090-1090-3437

公共交通機関

●名古屋駅から東へ徒歩7分

JR「名古屋」、名鉄「名古屋」、地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分です。地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター」駅及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。(財)名古屋国際センターへはビルの低層階エレベーターをご利用の上起こしてください。

●地下桜通線「国際センター」駅下車すぐ

●市バス「国際センター」下車すぐ

高速道路

●名古屋高速「丸の内」出口から

出口から直進し、「日銀前」交差点を右折して桜通を名古屋駅方面に向かい、「泥江町(ひえちょう)」交差点手前で右折してください。高速出口からの所要時間は約5分です。

別棟ホールへの行き方

ホールへの出入口は地上のみですので、地下からお越しの方はビル1階の北側出口からホールへお入りください。

E-mail: ambt@hotmail.co.jp

協会のHPアドレス: <http://aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

ハンガリーフェスティバル

申込書

氏名			
住所 〒	□□□□□□□□		
電話番号			メールアドレス
友好協会会員ですか?	Yes ☐	No ☐	備考

FAXでのお申し込みは、**0568-76-4347**